

千葉県知事  
森田健作様

平成31年4月22日  
生活協同組合コープみらい  
理事 千葉県本部長 鳥羽 治明

## 2018年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

### 1. 報告

生活協同組合コープみらいの2018年度「ちばSSKプロジェクトに関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

### 2. 2018年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

#### I 高齢者の見守り

1. 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市町村や警察等へ通報します。

- 2018年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し通報した件数は2019年3月20時点で27件（宅配21件、店舗6件）となっています。

#### 【通報などの事例】

- ・宅配事業では、組合員宅へ配達に伺いインターホンを押すと返事があり、商品をお渡ししようとしてドアを開けたところ組合員が倒れていました。意識もあり会話ができる状態でしたが、起き上がることができなかつたため救急車を要請し、救急搬送されました。
- ・店舗事業では、50代の男性のお客さまが急にひきつけを起こしたため119番通報し、気道を確保し、AEDを使用し対応しました。その後、救急搬送されました。

2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。

- 高齢者福祉に関する会議に参加しました。
  - ・新地域支援事業に関する会議
    - ・白井市第一層協議体委員会
    - ・富津市包括支援センター定例会
    - ・君津市君津西地区地域ケア会議
  - ・高齢者見守り等に関する会議
    - ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク連絡会
    - ・館山市高齢者見守りネット報告会
    - ・千葉市孤独死防止通報制度連絡会議
    - ・一宮町地域支援ネットワーク会議

- ・白井市高齢者見守りネットワーク事業に係る連携会議
- ・松戸市高齢者等見守り活動に関する協定締結事業者定例会

## II 「ちばSSKプロジェクト」

1. 「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、情報紙「ちばインフォメーション」（県内35万部発行）等の広報媒体の中で「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
  - (1) 高齢者見守り事例などを基にした普及啓発
  - (2) 組合員向け広報紙、ホームページへの掲載
    - 情報紙『ちばインフォメーション（約36万部発行）』5/21号に「ちばSSKプロジェクト」の記事を掲載し、地域での見守りネットワークについて紹介しました。
  - (3) イベント開催・参加におけるパネル展示等（コープみらいフェスタきやっせ物産展など）
    - 「コープみらいフェスタきやっせ物産展2019」（2/17幕張メッセ、約3万5千人が来場）に、千葉県くらし安全推進課及び千葉市消費生活センターにご出展いただき、消費者被害防止のための普及啓発活動に協力しました。

## III 認知症対策

1. 職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
  - コープみらいでは、2009年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所での講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています（2018年度養成数43人、年度末サポーター数1,013人）。
  - 組合員活動の中で認知症サポーター養成講座を進めました。千葉6区ブロック委員会が開催した「コープみらいカレッジけやきキャンパス」にて、「認知症ははじめの一步」3回コースに組合員16人が参加。第3回では認知症サポーター養成講座を実施し、12人がオレンジリングを受け取りました。
  - 松戸市常盤平地域包括支援センターの認知症カフェ開催に、会場提供などで協力しました。

## IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

1. 組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
  - 県内各地約90箇所毎月開催している「みらいひろば」は、組合員と地域の方が自由に参加できるコミュニティです。ご高齢の方も多数参加し、高齢者の仲間づくりの場、居場所としての役割を果たしています。

### 【みらいひろばでの事例】

みらいひろば常盤平の参加者から「ここに来ないと1日声を発しないで過ごしている」という声がありました。ご近所同士で顔を合わせ、おしゃべりする貴重な場となっています。

みらいひろば八千代では、八千代市から講師を招き健康体操を行いました。

みらいひろば浦安に、浦安市社会福祉協議会及び浦安市地域包括支援センターの職員が見学参加しました。地域にある集いの場として、周知いただけることになりました。

2. 組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。

- 組合員と地域の方の自主的な活動を応援する「地域クラブ」の仕組みを使って、多くの高齢者の方が健康や食、福祉などをテーマに、生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ キャロット白銀では、佐倉市白銀地域の中で 75 歳以上の独居の高齢者に対し、月 1 回手作り弁当を届ける活動を行っています。

地域クラブ ふれあいOGでは、月 1 回独居の方を含め地域の方との交流の場を開催し、買い物・調理・会食をしながら、介護予防・認知症予防に取り組んでいます。

その他、定年後の男性の活動事例として、地域クラブ 悠遊クラブでは、男性だけの料理実習を、地域クラブ ハモニカ唱歌隊では男性 3 人で童謡・唱歌を子育てひろば等で披露しています。

3. 食育プログラムやエコプログラムを、老人クラブなど高齢者向けに実施します。

- エコプログラムは、公民館などで高齢者向けにステンシルマイバッグ作りや草木染などを実施しました（2018 年度実績：計 6 回のべ 108 人参加）
- 食育出前授業は、公民館などで高齢者向けの献立ゲームと骨密度測定などを実施しました。（2018 年度実績：計 8 回のべ 380 人参加）

4. 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加を目指します。地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。

- 第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
- 地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めました。
  - ・八街市 やちまたふくしフェスタ 2018 への参加
  - ・館山市 たてやまかいごフェスタへの参加

5. その他

- コープみらいの移動店舗ふれあい便は、「地域にお店のない過疎地の高齢者の暮らしを支える社会貢献事業とすること」、「生協の幅広い事業やサービスを提供すること」、「移動店舗と担当者が来るのを待ち遠しいと思ってもらえること」、「停留所が地域のコミュニティの場になること」を目指して、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設の 64 ヶ所の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買物を支援しています。
- 佐原病院のイベント出展で知り合ったイムス佐原リハビリステーションから講師を派遣いただき、健康を考えるきっかけの場として足型測定を行いました。
- コープみらい津田沼デイサービスで、地域包括支援センターに協力して高齢者の仲間づく

り、居場所の提供を行いました。

- コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉市消費生活センターが2ヶ月に1回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介および簡単な相談を受け付けました。

## V 高齢者の安全、安心

1. 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報誌「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。

(1) 組合員向け配付物への掲載

- 情報紙『ちばインフォメーション（約36万部発行）』に「電話 de 詐欺防止」「春の交通安全運動」「防犯対策」等に関する啓発記事を計12回掲載しました。
- みらいひろば向けの広報媒体に特殊詐欺についての情報、コープみらいや地域で行っている高齢者支援の取り組みを紹介しました。

(2) 市町村との消費生活課と連携して、消費者力向上の啓発に協力します。

- ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

## 3. 添付資料

『ちばインフォメーション』5/21号・7/2号・8/13号・10/22号・11/19号

以上